

科目区分：人文・社会科学

授業科目名	社会と歴史（アメリカの歴史）					学期	曜日	校時
英語名	Society and History (American History)							
担当 教官名	有田嘉伸	単位数	2単位	必修 選択	選 択	後期	水曜日	3校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>アメリカ合衆国の歴史を、植民地時代から独立革命、合衆国憲法の成立までをたどりながら、植民地とイギリス本国やヨーロッパ諸国との関係を考察する。その際、その間に出された主要な史料を読み、歴史的な事実を史料によってあとづける。また、アメリカ独立革命史研究の変遷をたどり、歴史における「現在主義」について考える。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
<p>（参考文献） 有賀貞・木下尚一編『概説アメリカ史』（有斐閣選書） 木下・有賀・志郵・平野編『史料が語るアメリカ』（有斐閣）</p>								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 官 研 究 室		
全 学 部	試験と出席状況を考慮して行う。							
授 業 計 画								
<p>（主な内容）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．16～18世紀のヨーロッパ 2．ヨーロッパ諸国による探検と植民 3．イギリス13植民地の形成 （史料：ウィリアム・ブラッドフォード「ケープ・コッド上陸とメイフラワー盟約」など） 4．イギリスの植民地政策 （史料：「印紙法会議の宣言」、「宣言法」など） 5．アメリカ独立革命 （史料：トマス・ペイン「コモン・センス」、「独立宣言」など） 6．連合の時代 （史料：「連合規約」、「ザ・フェデラリスト」、「アメリカ合衆国憲法」など） 7．アメリカ独立革命史研究の展開 <p>（コメント） この講義では、歴史的事実や年代等を「暗記」することは一切要求しない。「歴史は現在と過去とのつきることのない対話である」といわれるが、そうした歴史の「現在主義」ということに思い致す契機になることを期待する</p>								